



脳神経科学統合プログラム

本学会にて**ブース出展・ランチョンセミナー実施!**

【この度のブース展示内容】

中核拠点

脳神経科学統合プログラム(脳統合)は認知症をはじめとする神経・精神疾患の根本的な治療・診断法の開発を目指す、国家的な脳神経科学研究プロジェクトです。本事業では、これまでの研究基盤を最大限に活用し、疾患概念を超えた共通病態の解明や異分野技術の導入を進めるとともに、数理モデル(デジタル脳)の構築や創薬シーズの開発を推進しています。

- 事業概要
- 事業のハブ機能「中核拠点」の紹介
- 事業内連携体制について
- 各種研究支援について

デジタル脳^{開発グループ}

脳の解剖学や生理学データを統合し、数理モデルとして再構成する「デジタル脳」の構築技術を開発しています。また、脳データベースと連携した「脳データ統合プラットフォーム」の整備を進め、脳機構の解明や精神・神経疾患の理解、新たな介入手法の探索を目指しています。

- AIを使った多重スケール脳モデリングのためのフレームワーク「Neuro-Workflow」
- 霊長類モデルをコンピュータ上に再現した「デジタルツインマウス」
- 脳データ統合プラットフォーム・ヒトMRIデータベース

知財・実用化支援

脳統合に参画している研究者に対して、知財・実用化戦略支援の一環として教育プログラムなどを提供するとともに特許調査やニーズ調査を行っています。各研究課題から生まれる成果を知的財産として適切に保護し、実用化に向けた戦略の立案を支援することで、研究成果を社会へ届ける「出口戦略」をサポートしています。

- 教育プログラム(e-learning・OJT)※
- webポータルリンク集※
- 特許調査報告書※など成果物公開
- 脳統合ニーズ調査結果
- BioJapan出展

※は脳統合参画者限定で提供するコンテンツです

研究倫理支援

脳神経科学研究に伴う倫理的課題について相談を受け付け、課題解決に向けた研究倫理支援を提供しています。また、脳神経倫理に関する研究を推進し、これらを踏まえて国内外の動向に関する情報発信やPPIの実践支援に向けた取り組みを進めています。※中核拠点・倫理支援担当と個別重点研究課題・倫理支援担当との共同ブースです。

- 倫理支援担当の活動紹介
- 倫理支援担当ポータルサイト
- 倫理相談・支援のご案内
- 研究倫理に関する成果・資料紹介

【ランチョンセミナー】

産学連携で拓く脳神経科学の未来:基礎研究から新薬開発へ

8/1^土

12:00-12:50

第2会場(神戸国際会議場3階)

詳細は
ブースにてお問合せ
ください

ぜひ

お立ち寄りください!

来場者には
ノベルティのプレゼントも
ございます

神戸国際会議場
[展示ホール1号館]

ブース番号:

13・14・15・16

AMED脳神経科学統合プログラム(Brain/MINDS2.0)ブース

1	8
2	7
3	6
4	5

9	16
10	15
11	14
12	13

17	23
18	22
19	21
20	

24	29
25	28
27	
26	

▼神戸国際会議場[展示ホール1号館]

